

おかやま協働のまちづくり大賞（仮称）案

1 趣旨・目的

豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現のため、多様な主体が地域づくりの当事者として、それぞれの知恵と力を最大限に生かし、協働して地域の社会課題解決をすすめる優れた取組（プロジェクト）を表彰し、協働のまちづくりを推進する。

2 表彰対象のプロジェクト

多様な主体が知恵と力を発揮し、協働して地域の社会課題解決をすすめている、次の要件を満たす「すぐれた取組（プロジェクト）」を表彰する。

ただし、協働で解決をめざす課題は、岡山市協働推進委員会（以下「委員会」）において毎年度、表彰対象テーマとして設定する。

- ① 解決をめざす社会課題が明確であり、プロジェクトにより一定の成果があがっていること。また、今後の成果が期待できるものであること。
- ② 解決のために、多様な主体がその特性を発揮し、役割分担を明確にして、共有する目的のために活動していること。
- ③ 原則として岡山市内のプロジェクトであること（岡山市における地域貢献性が高いものであること）。ただし、市外で実施することにより、岡山市の社会課題解決につながる事が明白な場合はその限りでない。
- ④ 地域資源の活用や人的資源の活用などがされているものであること。
- ⑤ 10人以上の活動者がおり、一過性のものでなく、継続性のある取組であること。
- ⑥ 独創的で、先駆性のある取組であること。

※多様な主体とは、住民自治組織、NPO 法人その他の市民活動団体、事業者、学校等

地域の社会課題解決に関する取組を行う全ての個人及び団体並びに市。

※宗教、政治又は営利を主たる目的とする活動及び、暴力団又は暴力団員の統制の下にある活動は対象としない。

3 スケジュール

7月26日 第1回協働推進委員会において表彰制度の検討

8月下旬 第2回協働推進委員会において、表彰制度の確定と、表彰テーマ（解決をめざす社会課題）の選定

9月下旬 募集開始（自薦・他薦可）

12月上旬 募集締め切り

1月中旬 第一次審査 協働推進委員による書類選考で入賞団体を決める

2月中旬 市民協働フォーラムにおいて最終審査と表彰式

3 募集方法

- ・公募する。
- ・自薦、他薦のいずれでも可。
- ・所定の申請用紙に、取り組みの概要と取組団体のわかるものを添付して提出する。
- ・行政の各課、市民活動団体等にも推薦依頼する。

4 選考方法

(1) 第1次審査 協働推進委員による書類選考で入賞プロジェクト（3～5プロジェクトに絞る）を決める

- 審査基準
- ① 成果の妥当性（解決をめざした課題の成果）
 - ② 協働力（協働の原則に照らした協働の成果）
 - ③ 地域への貢献度
 - ④ 地域資源の活用 人的資源の活用
 - ⑤ 継続力（今後への継続性）
 - ⑥ 先駆性、独創性

(2) 最終審査 市民協働フォーラムにおいて実施

- ① 入賞団体による公開プレゼンテーション
- ② 入賞団体によるポスターセッション
- ③ 市民審査員（参加者を公募）ワークショップ
審査の視点を高めるためのワークショップを行う
- ④ 市民投票
- ⑤ 協働推進委員の審査員点に市民投票の点数を加算し「大賞」を決定
- ⑥ 表彰式

5 表彰 2017年2月の市民協働フォーラムにおいて最終選考し表彰する。

大賞 1プロジェクト 賞金10万円と表彰状

入賞 4プロジェクト以内 賞金5万円と表彰状

6 平成28年度テーマ（解決をめざす社会課題）

| |
|--|
| |
|--|